

# 東北民放クラブ活動だより

## 囲碁同好会もコロナとともに？

関口 昌弘 (TBC)

もう、忘れられたような年初の、ダイヤモンド・プリンセス号。しかし新型コロナウイルス禍は既に今年の重大ニュースです。いまだ、先が見通せない中ですが、仙台では7月から定例碁会を再開。碁会所の消毒、額を差し出しての検温の儀式？を拝して恐る恐る対局を始めました。宮城県以外ですが、当初、感染者ゼロが続いて全国注視の中にいた岩手の会員は、パソコンフット相手の日々をかこち、秋田の会員からも、「早く生身の相手と碁石を握りたい」の声が聞こえてきました。その中に好敵手だったという仲間の会員の訃報が届きました。

この秋は、関西での全国大会が延期になったことで、仙台では昨年の大会会場でG・O・T・O温泉囲碁の会を実施しました。ただ、コロナの渦中、県外交流は自粛せざるを得ず、仙台会員8人だけのささやかな碁会となりました。

今年も僅かとなりましたが、国内外問わず感染者増加のニュース。



GoTo 温泉 碁会の会

世界注視の米大統領選挙は、マスク拒否の大統領のビッグマウス。そして、あの小さなアベノマスクは「今、何処へ」等々。勝負に雑念はマイナスと知りつつも、耳をそばだて、一日も早いコロナの終息を願いながら、石を持つ日々です。

## コロナウイルスとゴルフ同好会

伊藤 征雄 (TBC)

新型「コロナウイルス」禍でほとんどの同好会が活動を休止している中、ゴルフ同好会は秋の懇親会を開催しました。時は9月23日所は富谷カントリークラブ。

春はコロナのため中止しており

秋もコロナの心配は消えていませんでしたが、ゴルフ場も入場者の検温や消毒、レストランではディスプレイの確保等の対策を取っている事から実施を決めました。

コロナで参加者が何人になるか気になりましたが、なんとこれまでにない19人も申し込み。多分春からプレーを自粛していて、クラブを振る機会を待ち望んでいたのでは…。



思い切り楽しんだゴルフ懇親会

昨年はコロナという邪魔が入りましたが、幹事にとって最も気が掛かりは当日の天気。数日前から台風接近が報じられていただけにハラハラ。幸い台風は逸れ、当日は風もなく暑くもなく絶好のゴルフ日和。参加者はコロナも忘れ

クラブを振りました。

プレーの後は忘れていたコロナを一寸思い出し、懇談も程々に散会しました。

## 歩こう会、コロナ禍で動けず

八巻 健 (TBC)

歩こう会、一昨年の例会予定地は宮城県丸森町でした。この計画を阻んだのは台風19号です。各地で死者、行方不明者を出した台風19号は阿武隈川沿いに福島、宮城を結ぶ阿武隈急行鉄道を寸断し、丸森町中心部が濁流に吞まれたのです。

荒れ狂った台風の爪痕を目の当たりにした幹事は、丸森ウォークを取りやめたばかりでなく秋季例会を中止としたのでした。

それから一年。春先にやってきた招かれざる客、新型コロナウイルスが延々と居座っています。自粛しない者は容赦なく感染せしめるぞ、と脅しています。

台風は五感で感じ取れます。コロナは目に見えず、あまりにも長過ぎる。心身へとへとです。

台風で寸断の阿武隈急行鉄道は10月31日に全面復旧。コロナさん、この辺でお引き取り下さい、と伝えたいところです。